

独立行政法人国立美術館連携事業「国立美術館 コレクション・プラス」
事務処理要領

令和5年2月24日

1. 作品の管理責任

(1) 「国立美術館 コレクション・プラス」(以下「CP」という。)の実施にあたり、作品に関するすべての事故に対する管理責任の区分は次のとおりとする。

- ① 独立行政法人国立美術館が設置する美術館(以下「国立美術館」という。)において国立美術館の所蔵品を梱包して送り出してから、国立美術館に搬入・開梱・返却するまでの当該所蔵品に関する管理責任は、開催美術館・博物館(以下「開催館」という。)が負うものとする。
- ② 開催館でのCPを国立美術館にも巡回させる場合は、開催館でのCP終了後、開催館の所蔵品を梱包して送り出してから、開催館に搬入・開梱・返却するまでの当該所蔵品に関する管理責任は、国立美術館が負うものとする。

(2) 作品展示の指導等のため、国立美術館から担当者を派遣することがある。開催館でのCPを国立美術館にも巡回させる場合、開催館の作品の展示指導が必要であれば開催館の担当者を国立美術館に派遣することができる。

(3) 開催館は、国立美術館から派遣された担当者が作品の管理保全等に関して指示した事項を必ず実施すること。開催館でのCPを国立美術館にも巡回させる場合、国立美術館は開催館から派遣された担当者が作品の管理保全等に関して指示した事項を必ず実施すること。

2. 作品の点検と引継

作品の点検と引継は、次のとおり行うものとする。

(1) 国立美術館の所蔵品

- ① 国立美術館における梱包・搬出時には、国立美術館及び開催館の担当者が立ち会うこと。
- ② 開催館の会場への搬入・開梱・展示時及びCP終了時の撤収・梱包・搬出時には、開催館の担当者が立ち会うこと。
- ③ 国立美術館への搬入・開梱・返却時には、国立美術館及び開催館の担当者が立ち会うこと。

(2) 開催館でのCPを国立美術館にも巡回させる場合における開催館の所蔵品

- ① 開催館でのCP終了時の梱包・搬出時には、国立美術館及び開催館の担当者が立ち会うこと。
- ② 国立美術館への搬入・開梱・展示時及び国立美術館でのCP終了時の撤収・梱包・搬出時には、国立美術館の担当者が立ち会うこと。
- ③ 開催館への搬入・開梱・返却時には、国立美術館及び開催館の担当者が立ち会うこと。

3. 協約書の作成

CPの実施に当たっては、国立美術館、国立アートルリサーチセンター及び開催地の主催者の間で次の事項について協議の上、協約書を作成し、展示開始日から3か月前までを目途に

締結することとする。

- (1) 会場及び会期
- (2) 出品作品
- (3) 作品の管理
- (4) 経費の分担
- (5) その他必要な事項

4. 展示解説リーフレットの制作

出品作品に関する展示解説リーフレットは、国立美術館、国立アートリサーチセンター及び開催館において制作し、無料配布する。

5. 経費の負担区分

(1) 国立アートリサーチセンターが負担するもの

- ① 国立美術館から貸出す作品の製函費・梱包資材費、国立美術館での梱包・搬出から開催館への搬入・開梱・展示、及び CP 終了後の開催館での撤収・梱包・搬出から国立美術館への搬入・開梱・返却に係る経費
- ② CP を国立美術館に巡回する場合は、開催館の貸出す作品の製函費・梱包資材費、開催館での梱包・搬出から国立美術館への搬入・開梱・展示、及び国立美術館での CP 終了後の撤収・梱包・搬出から開催館への搬入・開梱・返却に係る経費
- ③ 国立美術館から貸出す作品の保険に係る経費
- ④ CP を国立美術館に巡回する場合は、開催館の貸出す作品の保険に係る経費
- ⑤ 無料配布の展示解説リーフレットの制作費用
- ⑥ 国立美術館から貸出す作品の事前調査、打合せ及び点検に必要な開催館の担当者の旅費
- ⑦ 国立美術館から派遣する担当者の出張旅費（講演会講師等を含む）

(2) 国立美術館が負担するもの

第5項（1）に掲げる以外で、CP を国立美術館に巡回する場合における、国立美術館での展示に必要なすべての経費

(3) 開催館が負担するもの

第5項（1）に掲げる以外で、開催館での展示に必要なすべての経費

6. クレジットライン

展示会場掲示物、展示解説リーフレット、広報媒体等において、本事業の名称（国立美術館 コレクション・プラス）又はそのロゴを表示することとする。併せて国立美術館及び国立アートリサーチセンター（CP を国立美術館に巡回する場合にあっては、開催館）の名称又はロゴを特別協力として表示することとする。

7. 観覧料収入等の帰属について

観覧料収入等については、開催地の主催者に帰属する。

8. 終了報告書の提出

(1) 開催地の主催者は、CP 終了後 1 カ月以内に報告書を作成し、これを独立行政法人国立美術館理事長あてに提出する（報告書の記載要領は別紙様式 1 を参照すること。）。

この場合、CP に関する資料（ポスター、宣伝広告、新聞等に掲載された記事及び写真記録等を含む。）を添付する。

(2) CP を国立美術館に巡回する場合、国立美術館の館長は、国立美術館での CP 終了後 1 カ月以内に報告書を作成し、これを独立行政法人国立美術館理事長あてに提出する（報告書の記載要領は別紙様式 2 を参照すること。）。

この場合、CP に関する資料（ポスター、宣伝広告、新聞等に掲載された記事及び写真記録等を含む。）を添付する。

9. その他

(1) CP の中止等の場合の責任

CP の主催者は、自らの責めに帰すべき事由に基づき CP を中止又は延期等せざるを得ない場合には、次の責任を負うものとする。

ただし、天災地変や疫病の流行等の不可抗力、その他、CP の主催者の責めに拠らない事由による場合は、この限りではない。

① 所蔵館に返却するまでの作品の管理及び保全

② 開催を中止又は延期等することによって、新たな経費負担が生じた場合は、その経費の負担

(2) その他

この要領に抛り難い場合は、国立美術館、国立アトリサーチセンター及び開催館が協議の上、取り決めることができるものとする。

(別紙様式1)

年 月 日

独立行政法人国立美術館理事長 殿

主催者代表

国立美術館連携事業
「国立美術館 コレクション・プラス」
終了報告書について（提出）

標記の展示が終了しましたので、別紙のとおり、報告いたします。

1. 展示企画名

2. 主催者

〇〇美術館

3. 特別協力

独立行政法人国立美術館〇〇〇〇

独立行政法人国立アートリサーチセンター

4. 会期

年 月 日～ 年 月 日 (〇〇日間)

5. 会場

〇〇〇〇美術館

6. 入場者数

入場者数	人				
有料合計	人：	一般	人	大学生	人
		高校生	人	団体（一般）	人
		割引	人	前売り	人
無料合計	人：	小・中学生	人	招待者	人
		障がい者等	人	その他	人

※入場者数は実情に合わせて詳細な内訳を記入すること

7. 収支決算書

収入

科目	金額	積算基礎
入場料収入	円	〇〇円×〇〇人、〇〇円×〇〇人
計		

支出

科目	金額	積算基礎
賃金	円	(例) 講演会講師 〇人×1日〇円×〇日
出張費		
作品輸送費		
会場設営費		
宣伝費		※この欄には、各科目の具体的な積算を記入すること。
計		

8. アンケート結果について

実施期間：〇〇年〇月〇日～〇月〇日 回収数：〇〇人

◇展示について

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ・とても良い（〇〇人，〇〇％） | ・良い（〇〇人，〇〇％） |
| ・普通（〇〇人，〇〇％） | ・あまり良くない（〇〇人，〇〇％） |
| ・良くない（〇〇人，〇〇％） | |

◇来館頻度について

- | | |
|------------------|----------------|
| ・今回が初めて（〇〇人，〇〇％） | ・1～2回（〇〇人，〇〇％） |
| ・3～5回（〇〇人，〇〇％） | ・6回以上（〇〇人，〇〇％） |

◇誰と来館したか（複数選択可）

- | | |
|--------------------------|------------------|
| ・一人で（〇〇人，〇〇％） | ・友人・知人と（〇〇人，〇〇％） |
| ・恋人／パートナーと（〇〇人，〇〇％） | |
| ・団体で（授業・観光ツアー等）（〇〇人，〇〇％） | |
| ・家族と（〇〇人，〇〇％） | ・その他（〇〇人，〇〇％） |

◇居住地について

- ・在館県（〇〇人，〇〇％）
- ・近隣県（〇〇人，〇〇％）
- ・各地方（〇〇人，〇〇％）

◇性別について

- | | |
|-----------------|--------------|
| ・男性（〇〇人，〇〇％） | ・女性（〇〇人，〇〇％） |
| ・回答しない（〇〇人，〇〇％） | |

◇年代について

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・9歳以下（〇〇人，〇〇％） | ・10代（〇〇人，〇〇％） |
| ・20代（〇〇人，〇〇％） | ・30代（〇〇人，〇〇％） |
| ・40代（〇〇人，〇〇％） | ・50代（〇〇人，〇〇％） |
| ・60代（〇〇人，〇〇％） | ・70歳以上（〇〇人，〇〇％） |
| ・回答しない（〇〇人，〇〇％） | |

◇自由記述欄

- ・展覧会企画について、特筆すべき意見があれば、別紙に添付のこと

※開催館で必要に応じて調査項目の追加可。

※上記すべての調査項目等の記載があれば、様式は問わない。

(別紙様式2)

年 月 日

独立行政法人国立美術館理事長 殿

主催者代表

国立美術館連携事業
「国立美術館 コレクション・プラス」
終了報告書について（提出）

標記の展示が終了しましたので、別紙のとおり、報告いたします。

1. 展示企画名

2. 主催者

国立〇〇美術館

3. 特別協力

〇〇美術館（開催館）

独立行政法人国立アートリサーチセンター

4. 会期

年 月 日～ 年 月 日（〇〇日間）

5. 会場

〇〇〇〇美術館

6. 入場者数

入場者数	人				
有料合計	人：	一般	人	大学生	人
		高校生	人	団体（一般）	人
		割引	人	前売り	人
無料合計	人：	小・中学生	人	招待者	人
		障がい者等	人	その他	人

※入場者数は実情に合わせて詳細な内訳を記入すること

7. 収支決算書

収入

科目	金額	積算基礎
入場料収入	円	〇〇円×〇〇人、〇〇円×〇〇人
計		

支出

科目	金額	積算基礎
賃金	円	(例) 講演会講師 〇人×1日〇円×〇日
出張費		
作品輸送費		
会場設営費		※この欄には、各科目の具体的な積算を記入すること。
宣伝費		
計		

8. アンケート結果について

実施期間：〇〇年〇月〇日～〇月〇日 回収数：〇〇人

◇展示について

- ・とても良い（〇〇人，〇〇％） ・良い（〇〇人，〇〇％）
- ・普通（〇〇人，〇〇％） ・あまり良くない（〇〇人，〇〇％）
- ・良くない（〇〇人，〇〇％）

◇来館頻度について

- ・今回が初めて（〇〇人，〇〇％） ・１～２回（〇〇人，〇〇％）
- ・３～５回（〇〇人，〇〇％） ・６回以上（〇〇人，〇〇％）

◇誰と来館したか（複数選択可）

- ・一人で（〇〇人，〇〇％） ・友人・知人と（〇〇人，〇〇％）
- ・恋人／パートナーと（〇〇人，〇〇％）
- ・団体で（授業・観光ツアー等）（〇〇人，〇〇％）
- ・家族と（〇〇人，〇〇％） ・その他（〇〇人，〇〇％）

◇居住地について

- ・在館県（〇〇人，〇〇％）
- ・近隣県（〇〇人，〇〇％）
- ・各地方（〇〇人，〇〇％）

◇性別について

- ・男性（〇〇人，〇〇％） ・女性（〇〇人，〇〇％）
- ・回答しない（〇〇人，〇〇％）

◇年代について

- ・９歳以下（〇〇人，〇〇％） ・１０代（〇〇人，〇〇％）
- ・２０代（〇〇人，〇〇％） ・３０代（〇〇人，〇〇％）
- ・４０代（〇〇人，〇〇％） ・５０代（〇〇人，〇〇％）
- ・６０代（〇〇人，〇〇％） ・７０歳以上（〇〇人，〇〇％）
- ・回答しない（〇〇人，〇〇％）

◇自由記述欄

- ・展覧会企画について、特筆すべき意見があれば、別紙に添付のこと

※開催館で必要に応じて調査項目の追加可。

※上記すべての調査項目等の記載があれば、様式は問わない。